

**【新規格付け】 鉄道建設・運輸施設整備支援機構**第20回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券： A A  
第21回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券： A A

格付投資情報センター(R&amp;I)は上記の格付けを公表しました。

**【格付け理由】**

整備新幹線の建設・保有を一手に担うほか、その他の鉄道の建設や内航船舶の共有建造といった業務を手がけており、運輸行政の執行機関として政策上の重要性が高い。主務省は国土交通省。整備新幹線は中核都市間を結ぶ大量・高速の交通機関として国民経済に不可欠な社会的インフラであり、建設資金はJRへの貸付料、既設新幹線の譲渡収入、国・自治体からの補助金・負担金という返済の必要のない資金でまかなわれている。鉄道建設業務のうち、一部の第3セクター鉄道会社向け債権は回収が当初計画通りに進んでおらず、返済条件の緩和に応じているほか、船舶共有建造業務は中小の内航海運業者に対し多額の未収金を抱えている。

ただ、こうした問題については国などと一体となって解決に取り組み、第3セクター鉄道会社向け債権残高は縮小傾向にあるとともに、内航海運業者向け未収金残高も減少しており、船舶共有船業務を抱える海事勘定の債務超過額は2007年度末には156億円（前年度は208億円）まで改善している。2008年3月末に終了した第1期中期目標期間（2003～2007年度）については、独立行政法人評価委員会からも「業務の各分野にわたり全般的に着実な実績を上げている」と評価された。なお、2007年12月の独立行政法人整理合理化計画でも組織の改廃や事業の大きな見直しはなかったが、独立行政法人に関する政策が変化する可能性については引き続き注意を払っていく。

**【格付け対象】**

発行者：鉄道建設・運輸施設整備支援機構

名称	第20回、第21回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券
発行額	第20回＝370億円、第21回＝150億円
発行日	ともに 2008年11月20日
償還日	第20回＝2013年9月20日、第21回＝2018年9月20日
表面利率	第20回＝1.23%、第21回＝1.86%
格付け	A A（新規）
受託会社	みずほコーポレート銀行
担保	一般担保付
備考	会社法の規定に基づく社債管理者ではなく、独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構法に基づく受託会社が置かれる

☆発行体格付け： A A [格付けの方向性：安定的]

発行体格付けとは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見で、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務（債券やローンなど）の格付けは、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付けを下回る、または上回ることがある。